

URL <https://kenren.miyagi.coop/>

# 県連速報

●発信元  
宮城県生活協同組合連合会  
●責任者 石川 宣子  
● TEL 022-276-5162  
● FAX 022-276-5160  
● 2026.1.28  
第734号  
(2025年度:23号)

## ●1月27日(火)、宮城県と宮城県生協連主催による「2025年度消費生活協同組合役員研修会」を開催しました。

1月27日(火)、宮城県庁2階201会議室において、宮城県と宮城県生協連の主催による「2025年度消費生活協同組合役員研修会」を開催しました。当日は、県連会員生協など18生協から54人が参加し、現代社会における喫緊の課題である「こども・子育て」について深く学びました。

開会にあたり、宮城県環境生活部消費生活部小野大基副参事兼総括課長補佐から「消費者の暮らしを取り巻く環境は厳しさを増している。生協の多角的な活動が、安心して暮らせる地域づくりの担い手として貢献することを期待する」、また、宮城県生協連冬木勝仁会長理事から「すべてのこども・若者が健やかに成長し、幸福な生活を送ることができる社会を目指し、こども政策の方向性を学び、生協の役割と課題を考えたい」との挨拶がありました。

続いて、宮城学院女子大学教育学部西浦和樹教授を講師に迎え、「こども・子育て政策の現状と課題」と題して講演をいただきました。西浦先生からは、こどもを取り巻く厳しい現状と、私たちが目指すべき「ウェルビーイング＝困っても立ち直れる地域力」の重要性についてお話をいただきました。「公平で確実な行政の制度と、制度の隙間を埋め、寄り添いと運用を整える地域の想いが噛み合い揃ったときに、すべての子どもが幸福な生活を送れる社会が実現する」ということ、宅配や店舗といった「生活接点」を生かした生協への期待について、話がされました。



宮城学院女子大学：西浦和樹教授



宮城県保健福祉部子育て社会推進課  
永澤志紀主任主査

その後、宮城県保健福祉部子育て社会推進課子ども政策班永澤志紀主任主査から「みやぎこども幸福計画」について、みやぎ生活協同組合 尾川輝敏代表理事・専務理事から「みやぎ生協の子ども・子育て支援の取組事例」について、報告がありました。

最後に、宮城県環境生活部消費生活・文化課消費者行政班の日下部巧主査より、「令和7年度消費生活協同組合指導検査結果」にもとづき、適正な運営のための説明がありました。

少子化や人口減少、子どもの貧困など、子どもを取り巻く環境は厳しさを増しています。今回の研修は、県の政策への理解を深めるとともに、県民を組合員とする相互扶助として、生協が地域課題にどう向き合うべきかを再確認する貴重な機会となりました。



みやぎ生協：尾川輝敏専務